

「継」

昨年、初孫が生まれました。子供達に『自然豊かな平和な日本』を引き継いでいかななくてはと思います。又、職場も若い職員が増えています。地域の方にいろいろ教えて頂きながら、職員皆で、悩み・笑い、「最期まで住み続けられる地域」を一緒に作ることを考え、継承して行きたいと思います。本年も宜しくお願いいたします。

小畑 智子
センター長
保健師

「声」

先日、道に迷っていたら、ちょっとした優しさに出会い「どうされましたか」と、いつもの仕事とは逆パターンの声かけに、不思議とうれしくなりました。困っている時の声かけはホント有難いものですね。今年も、挨拶や感謝の声かけや、地域の中での声をかけ合う関係等を大切にしたり、これから進む介護社会に対しても、皆さんと共に声を上げていきたいと思ひます。

菊谷 利幸
ケアマネジャー

「育」

人は、いくつになっても成長し続けられると信じています。地域の皆様の支援をさせて頂きながら、たくさんの温かな繋がりを育みたいのです。いつも支えてくれている家族に感謝し、笑顔いっぱい家庭を育みたいのです。自分に足りない知識や価値観をひとつずつ学びいれ、自身自身の力量を育みたいのです。たくさんの出会い、ふれあいを大切に、自分らしく成長できる一年にします。

みさと
藤田 光里
社会福祉士

「生」

今年は、「生」ということを自覚して生活したいと思っています。何気なく生きる・何気なく生活していることが多いのではないのでしょうか？又仕事・生活に流されて生きてないのでしょうか？自分自身に問いながら「生」について真剣に追及していきたくと思っています。

園家 佳都子
主任ケアマネジャー

「続」

体に良いとか、良い効果があると聞くと、試してはみるものの中々持続しません。そんな中でも唯一続いているのが、1日2回のラジオ体操とトマト氷です。何か始めようとしても、それが1日のリズムの中に自然と入る事が出来る迄時間がかかります。継続は力なりという言葉がある様に、今年も無理なく続けていきたいと思ひます。

加藤 礼子
事務

「今」

休日は「ほっきょくぐまの親子」の写真集を見、至福の時間を過ごします。しかし餌を求め続ける親子の場面は、苦しくて見られない。北極の氷は、地球温暖化で日増しに溶けており、写真集は数十年後の「ほっきょくぐま」の絶滅を警鐘。私たちが便利さを追求した為か、どうしたら救うことができるだろう。今、自分に出来ることは何、今年は「少しの不便」に親しみます。

原 悦子
ケアマネジャー

「感」

忙しくなりすぎると、感じることも通りすがってしまうことがあります。人の気持ち、季節の移り変わり、読書や音楽で感動したり、見えないことに意味を見出したり…。忙しいからこそ「感じる」ことを大切にしたい、いつもお世話になっている皆さんとともに、この地域でのお仕事を頑張りたいと思ひます。

小林 舞見
社会福祉士

「新」

皆さま、初めまして。2013年9月より包括に異動になり、8年振りに新人気分を味わっている山田沙希と申します。以前は紫野診療所(旧北病院)の医事課で働いていました。診療所時代にも一部相談業務を担当していましたが、包括に異動して求められる知識の精度と幅広さに日々身の引き締まる思いです。まだまだ未熟ですが、2014年も心新たにがんばっていきたくと思っていますので、どうぞ宜しくお願い致します。



山田 沙希
社会福祉士



高齢サポート・紫竹
京都市紫竹地域包括支援センター

高齢サポート・紫竹は、大宮・紫竹・待鳳
地域の高齢者の方々の相談窓口です。

京都市北区大宮南山ノ前町36-1
TEL 495-6638 FAX 495-6660
URL: <http://kita-hp.aoikai.net/sien.php>
E-mail: shitiku@mbe.nifty.com

当センター担当地域
紫竹学区・大宮学区・待鳳学区

